

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 24 年 7 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 23 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

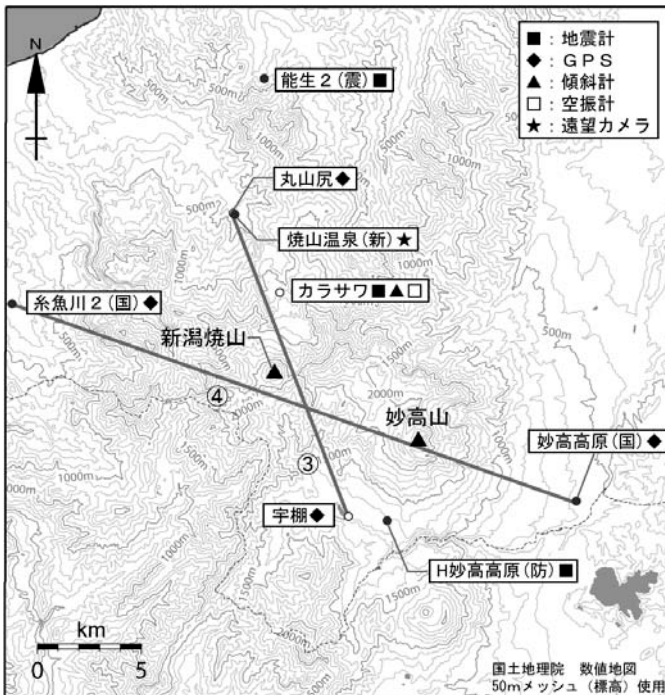
○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2※、図 3-①※）

新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、山頂部東側斜面の噴気は少なく、噴気の高さは 0～30m で経過しました。

・ 地震や微動の発生状況（図 3-②、図 4※）

新潟焼山付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所、(新)：新潟県

図 1 新潟焼山 観測点配置図

GPS 基線③④は図 3 の③④※に対応しています。



図 2※ 新潟焼山 山頂部の状況
(7 月 12 日 焼山温泉監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 8 月分）は平成 24 年 9 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、国土地理院、東京大学、京都大学及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 23 情使、第 467 号)。

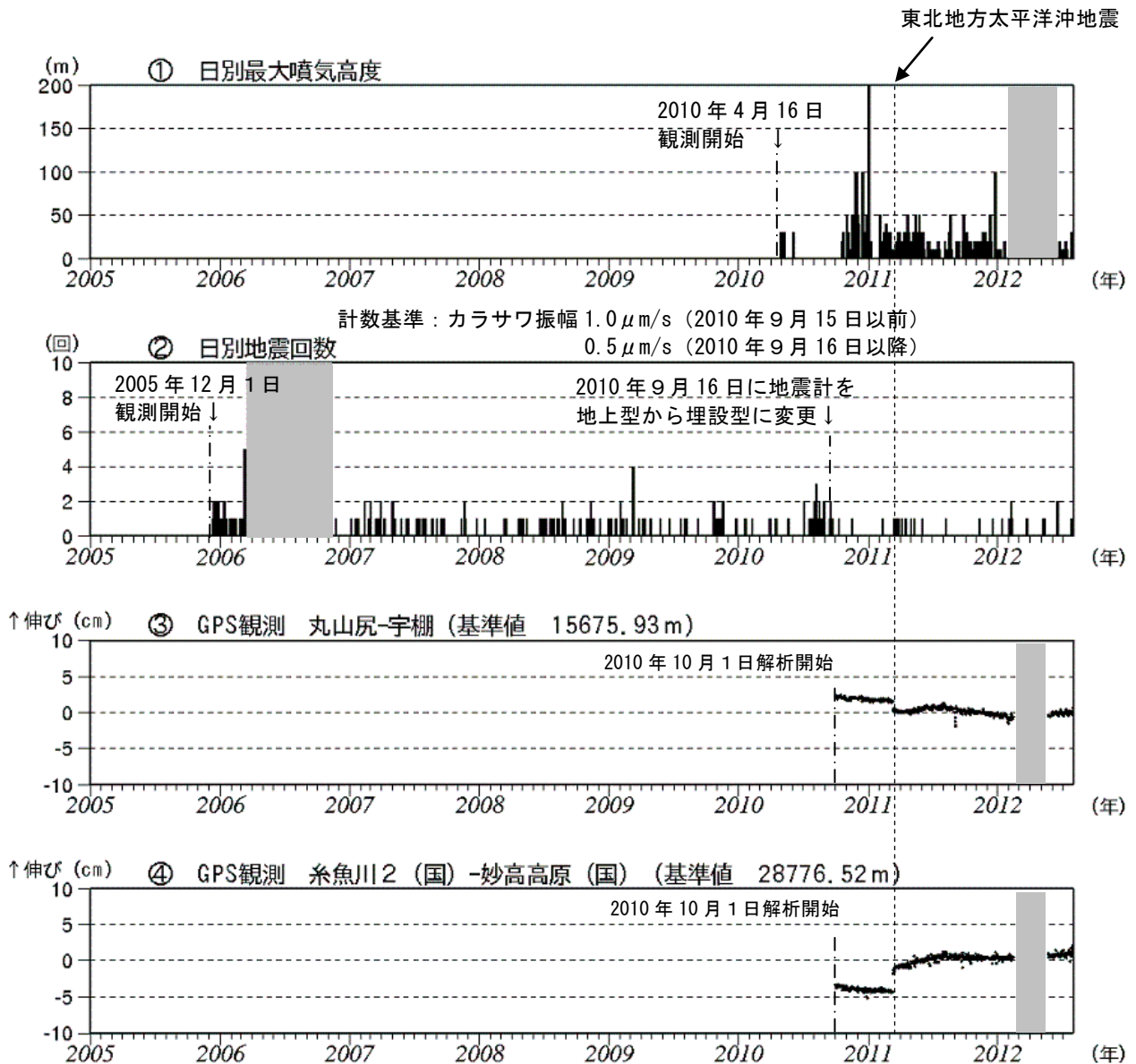


図3 新潟焼山 火山活動経過図

①※：定時観測（09時・15時）による日別最大噴気高度（2010年4月16日～2012年7月31日）

図の灰色部分は機器障害による欠測期間。

②：日別地震回数（2005年12月1日～2012年7月31日）

図の灰色部分は機器障害による欠測期間。

③④※：GPS連続観測結果（2010年10月1日～2012年7月31日）（国）：国土地理院

図の灰色部分は機器障害による欠測期間。

③④※の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。

③④※は、図1のGPS基線③④に対応しています。

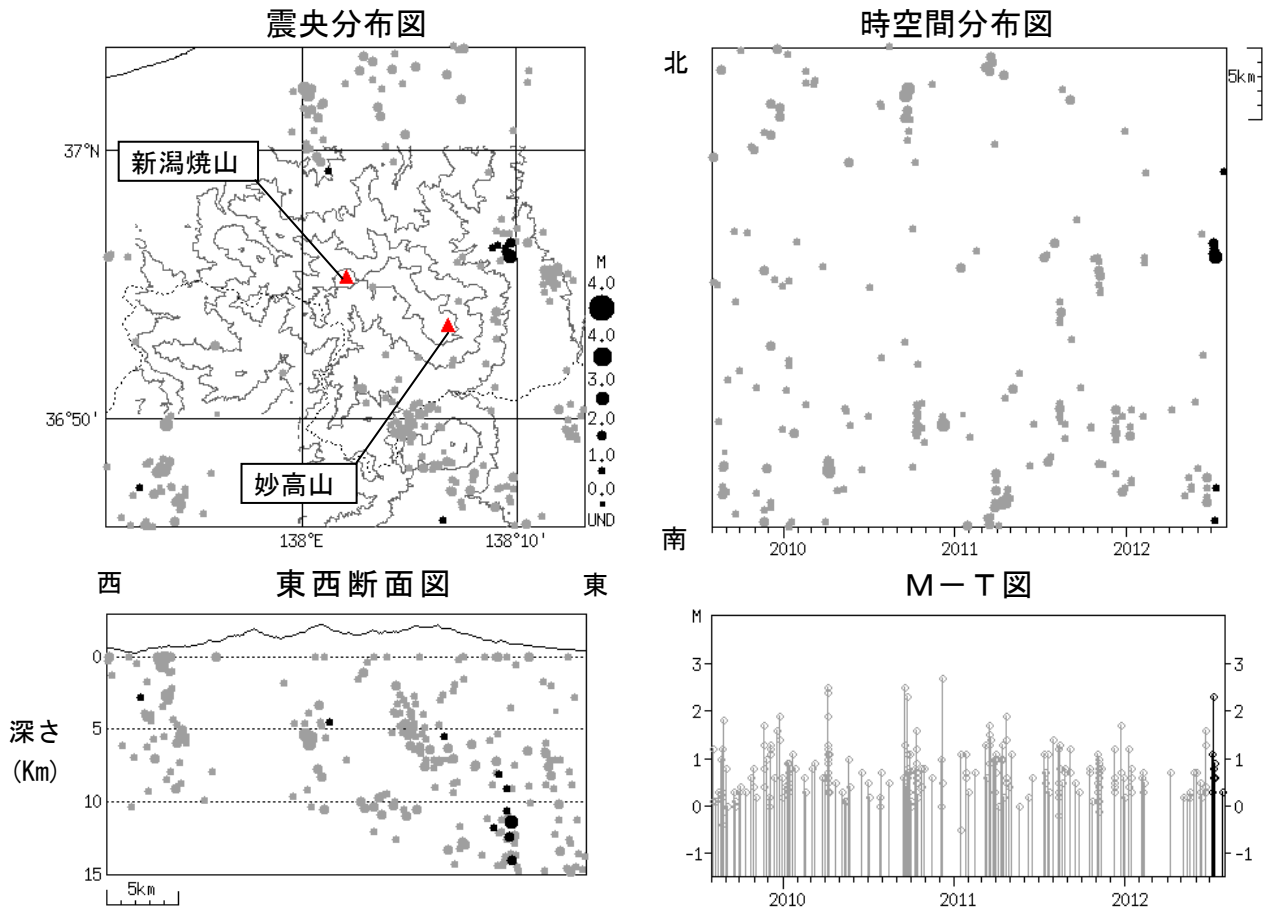


図 4 ※ 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動 (2009 年 8 月 1 日～2012 年 7 月 31 日)

● : 2009 年 8 月 1 日～2012 年 6 月 30 日 ● : 2012 年 7 月 1 日～7 月 31 日

M (マグニチュード) は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。